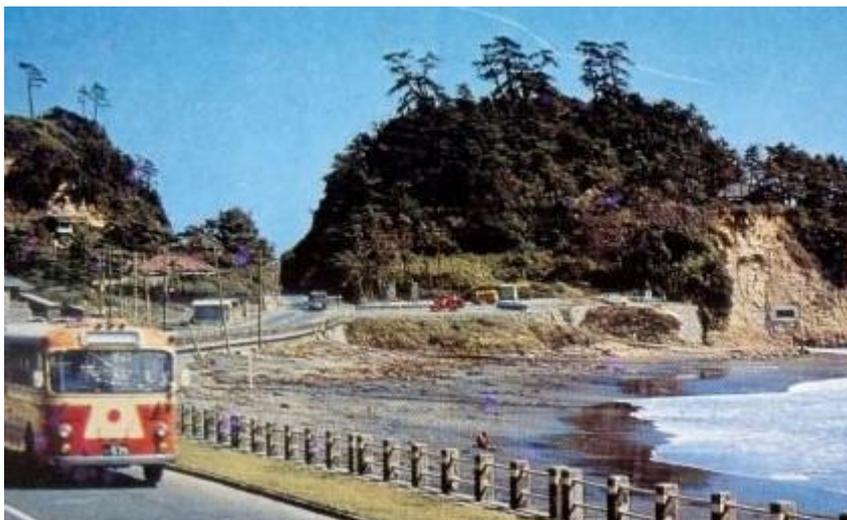


「崩落近し？～春まで待てないかもしれません！」

定点観測から緊急連絡！またまた国道と下水道本管に危機です。

極楽寺川の河口を盛り土したところ・・・切通しの手前、海側に電信柱が立つところから画面左手にかけて、汀線が最も奥まった場所だと思います。



(昭和39年)

昭和の海水浴時代、海の家が3軒と監視所があった。1987年の台風で海水浴場施設が損壊。翌年、土嚢を積んで監視所を設営するがやはり無理だったのか海水浴場の指定解除。



1987

2016 年以降 猛烈な勢いで砂浜後退。岩盤が露出して、ついに丸階段が壊れた！



2018 年 10 月 18 日



稲村ヶ崎に近いほど段差は無く斜面

濡れて光る基礎の上に満潮時の汀線。オンショアのせいか護岸まで遡上しています。



2018年10月30日



2020年2月20日

下の写真、冬の季節風で荒れています。

最も奥まった位置にコンクリート基礎がある。離岸流の発生が見えます。リップカレントは、音無川河口（カワマエ）からウバガヤのリーフエッジを西方向にミオまで。



2020年1月8日

2021年1月10日



コンクリ平場上の黒砂は、増減を繰り返しています。ココは西からの波も東からの波も最後に集まってくる場所。集めた砂が沖に出る場所でもあるようです。



2020年9月17日

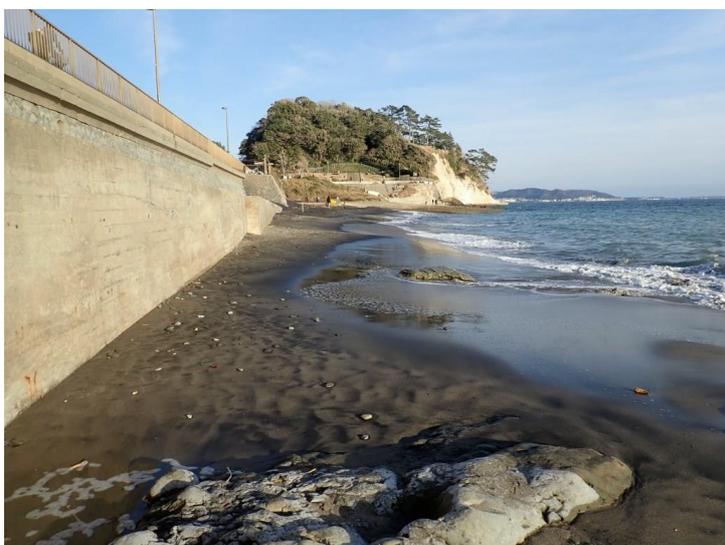
最も砂が少なくなった時の様子です。以下の写真は 2021 年 2 月 28 日の撮影です。



平場の足元の岩盤から西方向を撮影



東方向には黒砂が堆積します。



境目はここ。岩盤の切れ目



コンクリ壁面は 150 cmより高い。



現存する丸階段の下段から撮影。コンクリ基礎の岩着部分に注目！



コンクリ基礎、合わせている部分 (2021年2月28日)



(2021年4月22日撮影)



(2021年5月25日撮影)



護岸に張り付く植物があります。真水がある証拠です。(2021年5月25日)

海から目線・・・

春の大潮、干潮時の汀線から見ると、こんな景色でした。 2021年5月25日



階段右手、排水口含むコンクリート基礎ですが、岩場が無い中央部に亀裂が生じました。



2023年2月5日

亀裂から黒砂が～！西風に流されて乾いて固まっていた！！海側のブロックとの段差から、全体が陥没しているように感じます。前にはスケートボードしようとは思えない片流れの斜面でした。現在も斜めですが、以前に比べて傾斜が弱くなっていると思います。

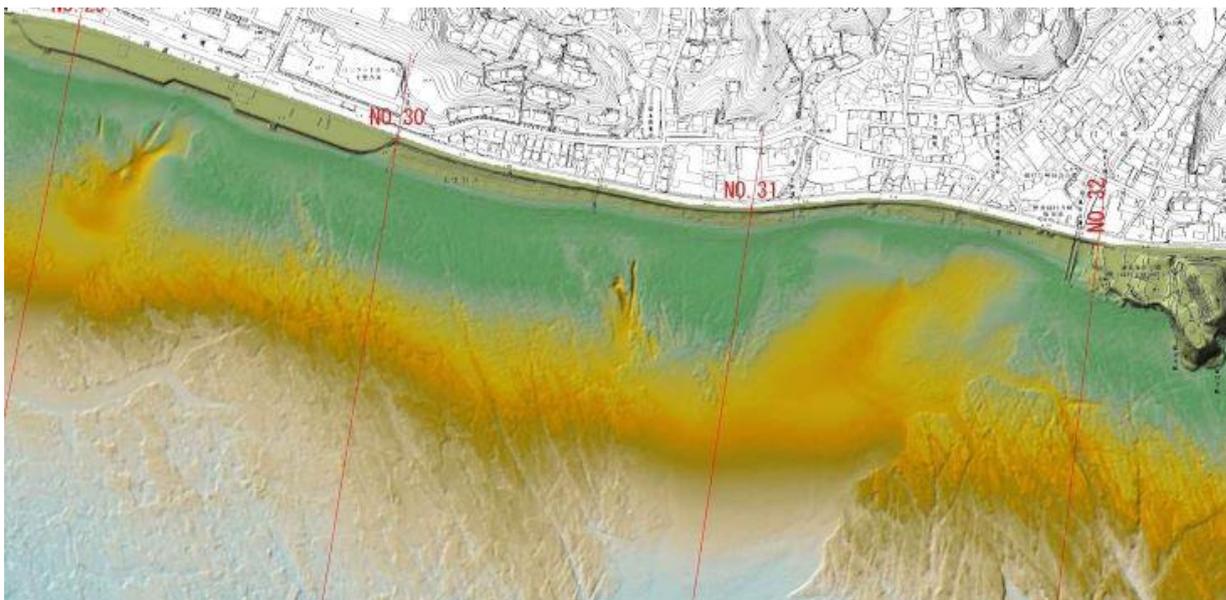


岩盤が無い音無川河口とつながる地形です。同じように、目に見える岩盤が切れているのが極楽寺川の河口です。

下水道本管を含み、道路全体が陥没する可能性を否定できません。

鎌倉市行政に警鐘を。そして素早く調査実施を。どうぞよろしくお願いします。

奥田みゆき padobo@gmail.com



2019年9月撮影 音無川河口の上で道路陥没した時の様子

